



株式会社 ジェイ・イー・ティ



2024年12月13日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイ・イー・ティ
代 表 者 名 代表取締役社長 房野 正幸
(コード番号 6228 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 問田 宗寿
T E L 0865-69-4080
U R L <https://www.globaljet.jp/>

「サステナビリティ経営方針」策定に関するお知らせ

当社は、このたび創業以来初となる「サステナビリティ経営方針」を策定し、本日当社 Web サイトにて公開いたしましたので、お知らせいたします。

本方針では、経営陣からのサステナビリティに関するメッセージ、選定したマテリアリティ（重要課題）とその課題に対する取組方針、具体的な目標値を記載しております。

今後も本方針に従い、具体的な取組について情報開示を充実させ、ステークホルダーの皆様との建設的な対話を促進し、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。

「サステナビリティ経営方針」は、以下よりご覧いただけます。」

URL: <https://www.globaljet.jp/2024/12/13/> 「サステナビリティ経営方針」 /

【主な項目】

サステナビリティ経営メッセージ

企業理念

マテリアリティ（重要課題）

取組方針と具体的な目標

株式会社ジェイ・イー・ティ
サステナビリティ経営方針

サステナビリティ経営メッセージ Sustainability management policy
半導体洗浄装置において、環境負荷の低いプロセスにて代替する洗浄装置の開発により、社会に貢献すべく尽力しております。またここ数年の売上増大に対応すべく新工場を建設予定であり、最先端技術の導入による生産性の向上、研究開発の加速を図るとともに、社会的価値への貢献として環境にやさしい地域社会との共生を実現できる工場にしたいと考えております。企業は人なりの考えのもと、2017年以降、毎年5~7名の新卒社員を採用してきており、加えて新たな中堅社員の採用にも積極的に取り組んでまいりました。新たな人材育成システムを含む人事制度を導入し、人材の早期戦力化を目指してまいります。

1

企業理念

- ◆ ミッション：お客様第一主義に徹し、強い会社・良い社会づくりに貢献し、人を大切に、社会貢献に努めてまいります
- ◆ ビジョン：技術優位の差別化された製品にて、世界市場で常に優位立場を獲得します
- ◆ プリンシプル：未来をつくる6つの約束（ credo ）を基本に考え、行動します



① サステナビリティ経営メッセージ



半導体洗浄装置において、環境負荷の低いプロセスにて代替する洗浄装置の開発により、社会に貢献すべく尽力しております。

またここ数年の売上増大に対応すべく新工場を建設予定であり、最先端技術の導入による生産性の向上、研究開発の加速を図るとともに、社会的価値への貢献として環境にやさしい地域社会との共生を実現できる工場にしたいと考えております。

企業は人なりの考えのもと、2017年以降、毎年5~7名の新卒社員を採用してきており、加えて新たな中堅社員の採用にも積極的に取り組んでまいりました。新たな人材育成システムを含む人事制度を導入し、人材の早期戦力化を目指してまいります。

② マテリアリティ（重要課題）と 取組方針

マテリアリティ(重要課題)	取組方針
1. 気候変動対策	事業活動における環境負荷の低減と気候変動対策を実践する
2. 環境負荷低減	環境負荷の高い硫酸を使用しない洗浄方法を確立する
3. 労働安全衛生・健康経営	労働安全衛生の法令順守のもと、従業員が安全、健康、快適に働くことができる職場を提供する
4. 人材価値の最大化	価値創造の源泉である人財が多彩な能力を最大限に発揮できるよう、人材育成投資を積極的に行う
5. Well-being・DE&I 注1)	多様な人財が働きやすく、働きがいを持って活躍できる職場環境を構築する
6. 先端半導体国産化への貢献	革新的枚葉式洗浄装置の技術開発を継続し、量産化を推進する
7. サプライチェーンマネジメント	サプライチェーン全体でのサステナビリティ推進により、価値創造を図る

注1) Well-beingとは、⇒「身体的、精神的、社会的に満たされている状態」
DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）とは⇒「多様性」を「受容・包括」し、それぞれに「公平」な機会提供のもとで、互いに尊重しながら成長できる環境づくりを目指した考え方

③ 具体的な目標 Part 1

取組方針	具体的な目標
事業活動における環境負荷の低減と気候変動対策を実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年 Scope1・2・3 注1) の測定実施 CN(カーボンニュートラル/脱炭素)のロードマップ策定 ・2026年 TCFD賛同 注2) ・2027年 SBT認証取得 注3) ・2027年 新工場に再生可能エネルギーおよび省エネ設備の導入
環境負荷の高い硫酸を使用しない洗浄方法を確立する	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年 硫酸を使用しない洗浄方法の確立 ・2026年 レジスト剥離の工程で硫酸を使用しない洗浄装置の販売
労働安全衛生の法令順守のもと、従業員が安全、健康、快適に働くことができる職場を提供する	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害発生件数 0件/年 維持 ・安全衛生講話 4回/年 ・定期健康診断受診後の再検診率 100% ・ストレスチェックに基づくフィードバックの継続 ・2025年 働き方改革のマネジメント研修実施

③ 具体的な目標 Part 2



取組方針	具体的な目標
<p>価値創造の源泉である人財が多彩な能力を最大限に発揮できるよう、人財育成投資を積極的に行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年 人財育成カリキュラム新設 ・2025年 e-ラーニング導入 ・2026年 資格取得費用補助制度導入
<p>多様な人財が働きやすく、働きがいを持って活躍できる職場環境を構築する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年 人事制度見直し ・2025年 育児休業取得率 100% ・2026年 有給休暇取得率 60% エンゲージメント調査実施およびフィードバック タウンホールミーティング実施による理念浸透 従業員の意見聴取 6回/年 女性採用比率 30%
<p>革新的枚葉式洗浄装置の技術開発を継続し、量産化を推進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2027年 革新的枚葉式洗浄装置の量産化 ・2033年 売上高比率 バッチ式50%、枚葉式50%
<p>サプライチェーン全体でのサステナビリティ推進により、価値創造を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年 CSR調達方針、 サプライチェーンマネジメント方針の策定 サプライチェーンの労働安全衛生、環境、倫理などの分野に関するサステナビリティ評価の実施と継続的な改善要請の継続